

R5年度

「災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修」
～大阪北部地震から考える災害時の外国人支援とは～

2023.6.27

(公財)箕面市国際交流協会

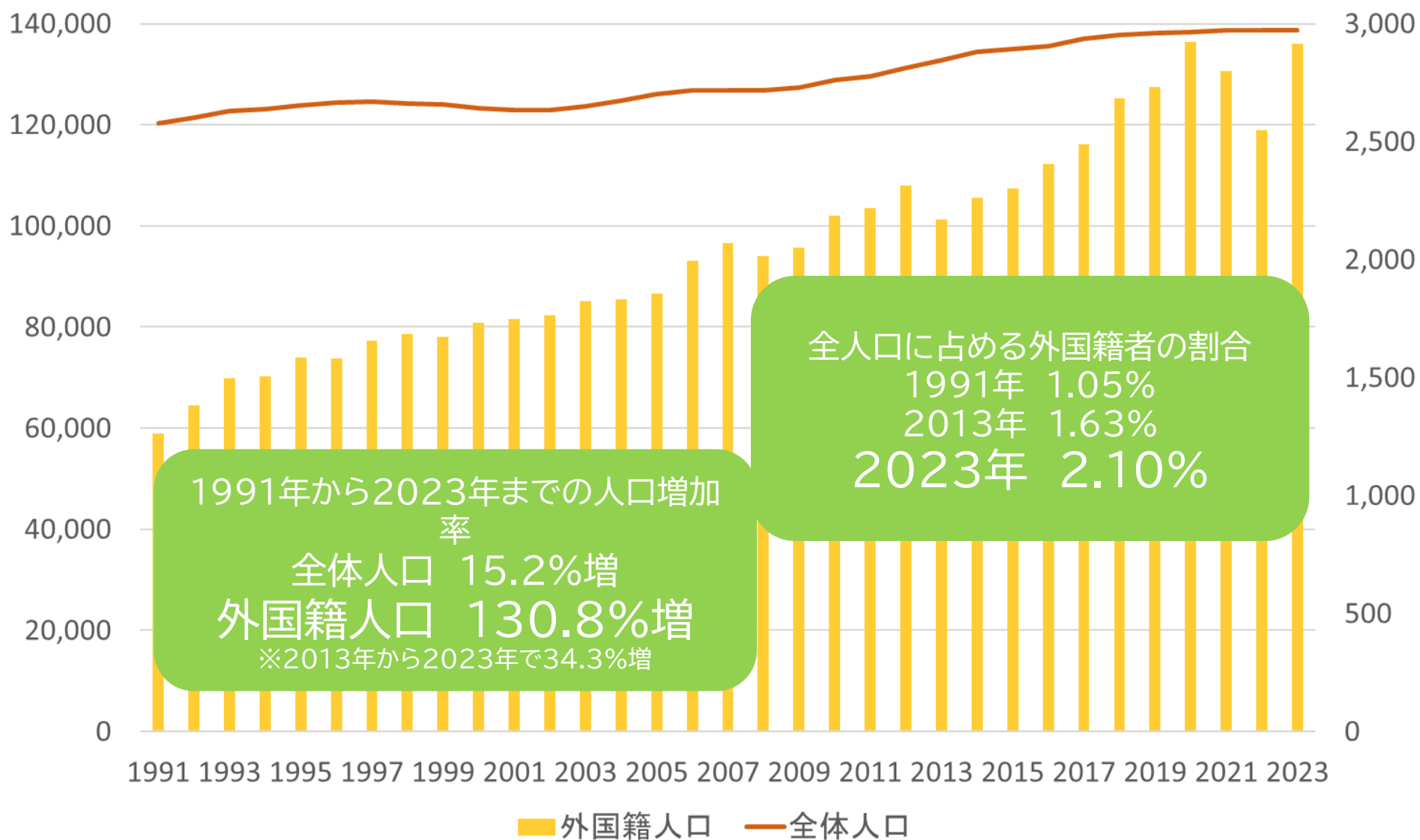
岩城 あすか

自己紹介

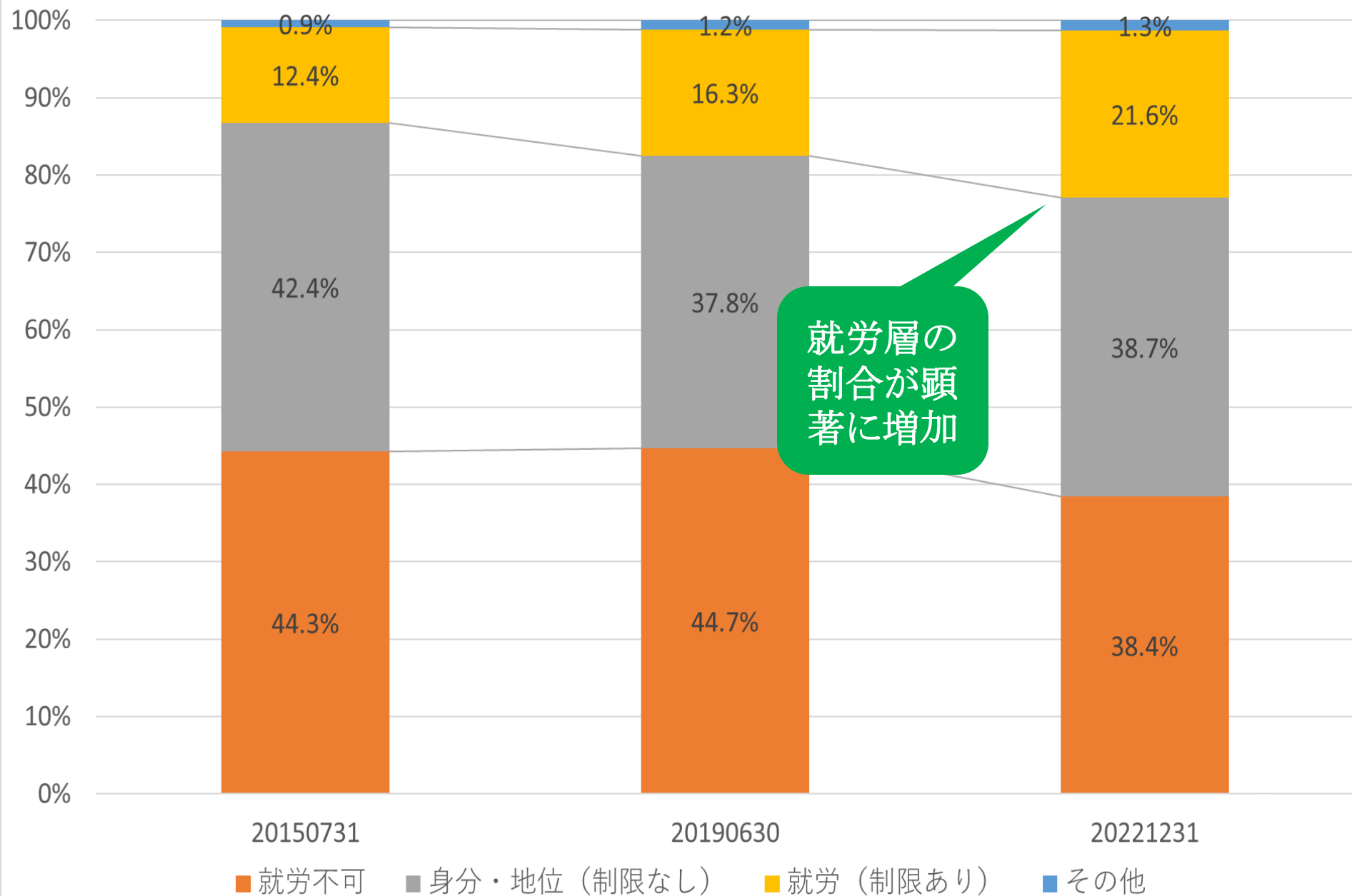
- 1993年 大阪外国語大学トルコ語学科入学
高槻市の在日コリアンの中学生たちの学習支援
難民の高校生の学習支援
阪神大震災のボランティア、重度身体障害者の介護
- 1997年～ イスタンブール大学(院)に留学
- 2001年 トルコ語通訳を経て民間企業に就職
- 2003年 結婚、トルコより夫来日
- 2005年～ 現職(公益財団法人箕面市国際交流協会)
- 2012年～ 劇団「態変」発行の情報誌「イマージュ」編集
- 2018年～ 朝日新聞社「論座」(政治・国際)に時々寄稿
- 2019年～ 自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー

①被災前の取り組み

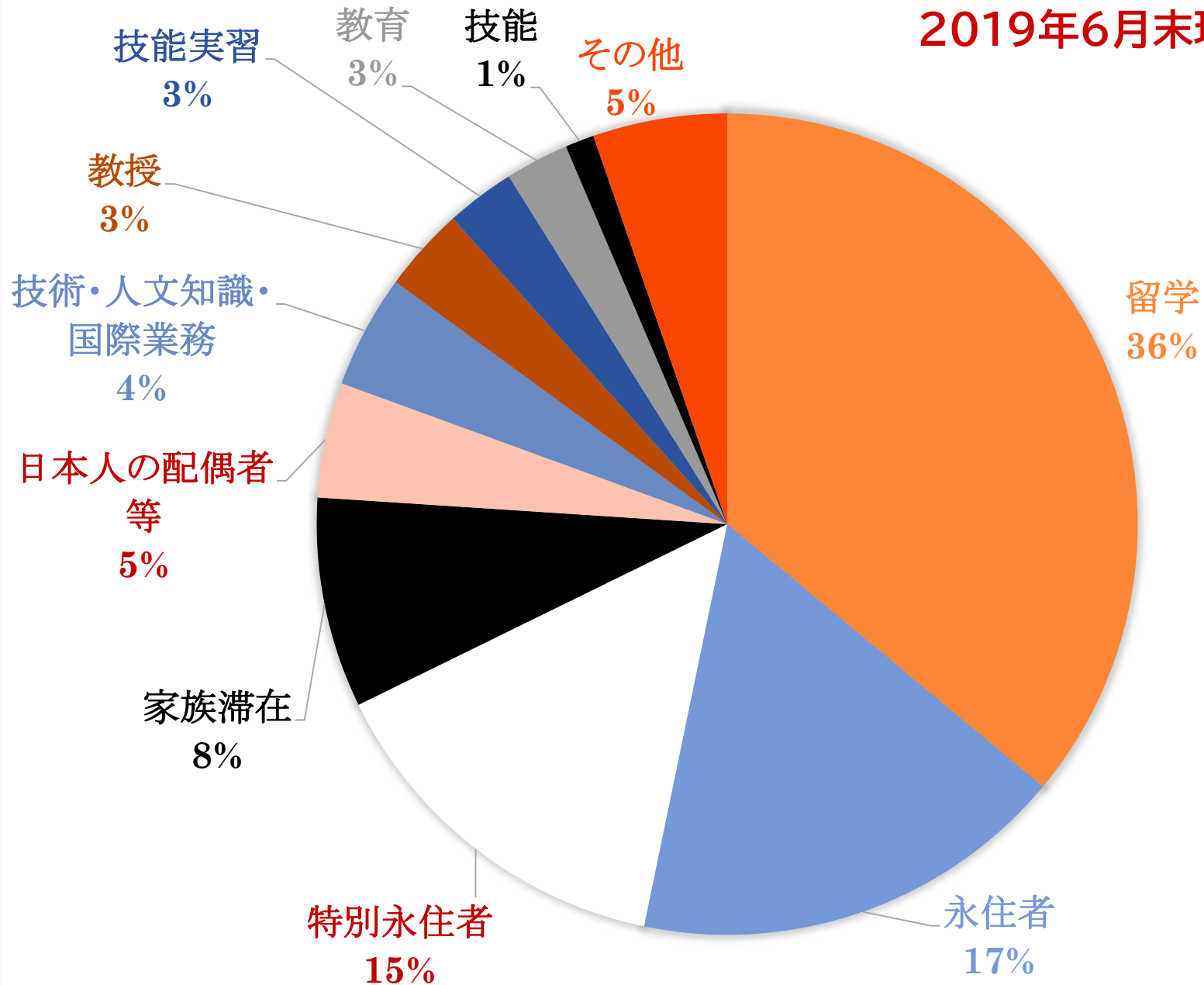
市内在住外国籍者数の推移



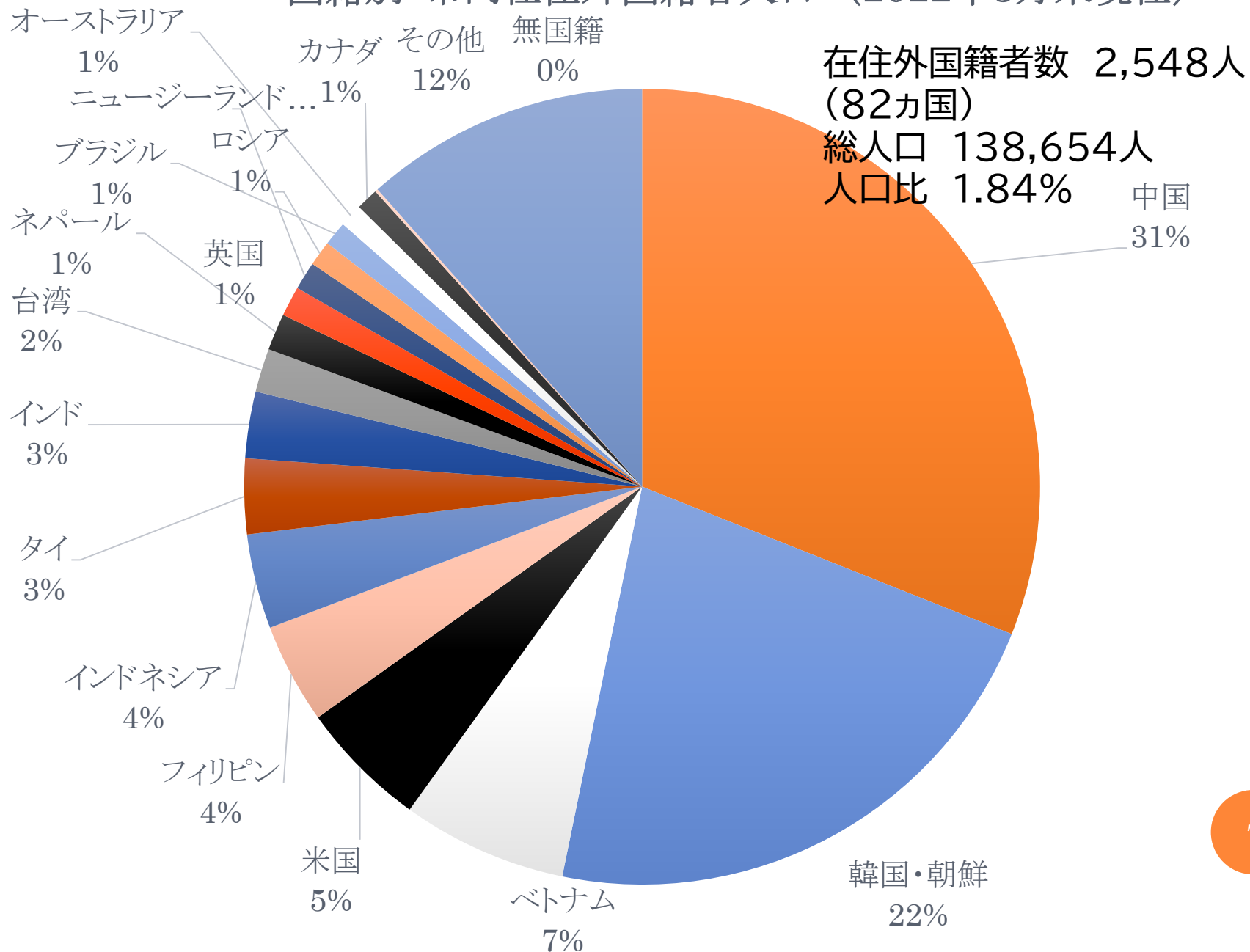
在留資格区分別の人口割合（経年比較）



在留資格別 市内在住外国籍者数(割合)
2019年6月末現在



国籍別・市内在住外国籍者人口（2022年3月末現在）



「国際交流協会ネットワークおおさか」

- 2003年発足。1～2か月に1度集まって情報交換 & 企画をおこなう。
- 2010年度:外国人府民への情報流通促進調査事業
- 現在は6つ(吹田、箕面、とんだばやし、とよなか、大阪市国流、大阪府国流)の国際交流協会と2市(池田市、和泉市)、
ワザバーとして府と堺市、NPOタブマネが参加。
- 2011年「東日本大震災」
 - 3.11で滋賀県のJIAM内に設置された「東日本大震災
多言語支援センター」へ中国語翻訳や相談員を派遣
毎日18時に翻訳者へ原稿を依頼～翌日9時までに返送、
ネイティブチェックにかけ、12時までに納品。
3月14日から情報提供が終わる4月28日までの45日間、
合計113報を翻訳した(中国語翻訳に携わったのは20人)
⇒もし南海トラフ地震がおこったら？との問題提起。

「国際交流協会ネットワークおおさか」

- 3.11で滋賀県のJIAM内に設置された「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」へ中国語翻訳や相談員を派遣
毎日18時に翻訳者へ原稿を依頼～翌日9時までに返送
ネイティブチェックにかけ、12時までに納品。
3月14日から情報提供が終わる4月28日までの45日間、
合計113報を翻訳した(中国語翻訳に携わったのは20人)
- 仙台区際交流協会の「災害時多言語支援センター」の取組を学ぶ
- 仙台区の「片平地区連合町内会会長」から話を聞く
- 「やさしい日本語」のワークショップ(弘前大学の佐藤先生)
- 島根県や仙台と連携した翻訳依頼ワーク
- 4言語での災害時ブログの立ち上げ

けんしゅうかい
【研修会】

1

1部 講義: "やさしい日本語"による災害時の情報を考える

講師: 佐藤和之氏(弘前大学教授)

2部 ワークショップ: 第4回の演習内容を検討する

日時: 8月23日(金)13:30~16:30

場所: 大阪市国際交流センター3階 会議室3,4 (大阪市天王寺区上本町8-2-6)

2

1部 講義: 外国人市民も含めた避難所運営とは?

講師: 今野均氏(仙台市片平地区連合町内会会長)

2部 ワークショップ: 第4回の演習内容を検討する

日時: 8月30日(金)13:30~16:30

場所: 大阪市国際交流センター3階 会議室1,2 (大阪市天王寺区上本町8-2-6)

3

1部 講義: "仙台市多言語支援センター"の取り組みから

講師: 須藤伸子氏(仙台国際交流協会企画事業課企画係マネージャー)

2部 ワークショップ: 第4回の演習内容を検討する

日時: 9月20日(金)13:30~16:30

場所: マイドームおおさか8階 第6会議室 (大阪府中央区本町橋2-5)

えんしゅう
【演習】

4

避難所体験と多言語支援センター一設置訓練

大阪府内で2回行い
ますが、内容は同じです。

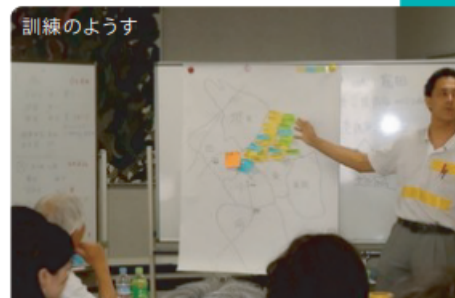
対象: 外国人市民、地域住民、ボランティア

【北部】 日時: 11月1日(金) 10:00~17:00

場所: 箕面市立多文化交流センター
(大阪府箕面市小野原西5-2-36)

【南部】 日時: 11月23日(土) 10:00~17:00

場所: とんだばやし国際交流協会
(大阪府東淀川区とんだばやし1-1-1)



同訓練で、多言語HPも準備。他県へ翻訳を依頼 (協力:「仙台国際交流協会」と「しまね国際センター」)

The screenshot shows a WordPress admin dashboard for a website titled "災害時多言語情報(訓練用)". The main content area is titled "Edit Post" and shows a post titled "設置箕面市災害電話". The post content includes the following text:

0011 平成25年10月31日
箕面市災害対策本部

設置箕面市災害電話

為保証災害後対応大市民の各種尋問服务, 給市民提供情報, 自15日起開始設置専用電話。

接待時間: 9:00-21:00

電話: 072-727-6912

相談内容 有関電, 気, 水, 交通の恢復情况, 避難場所, 飲用水の提供, 垃圾の収集, 臨時住房以及医疗机关的信息等。

The right sidebar shows the "Publish" section with the following information:

- Status: Published [Edit](#)
- Visibility: Public [Edit](#)
- Published on: Nov 1, 2013 @ 14:55 [Edit](#)
- Publicize: Not Connected [Show](#)
- Buttons: [Move to Trash](#), [Update](#)

The bottom sidebar shows the "Format" section with the following options:

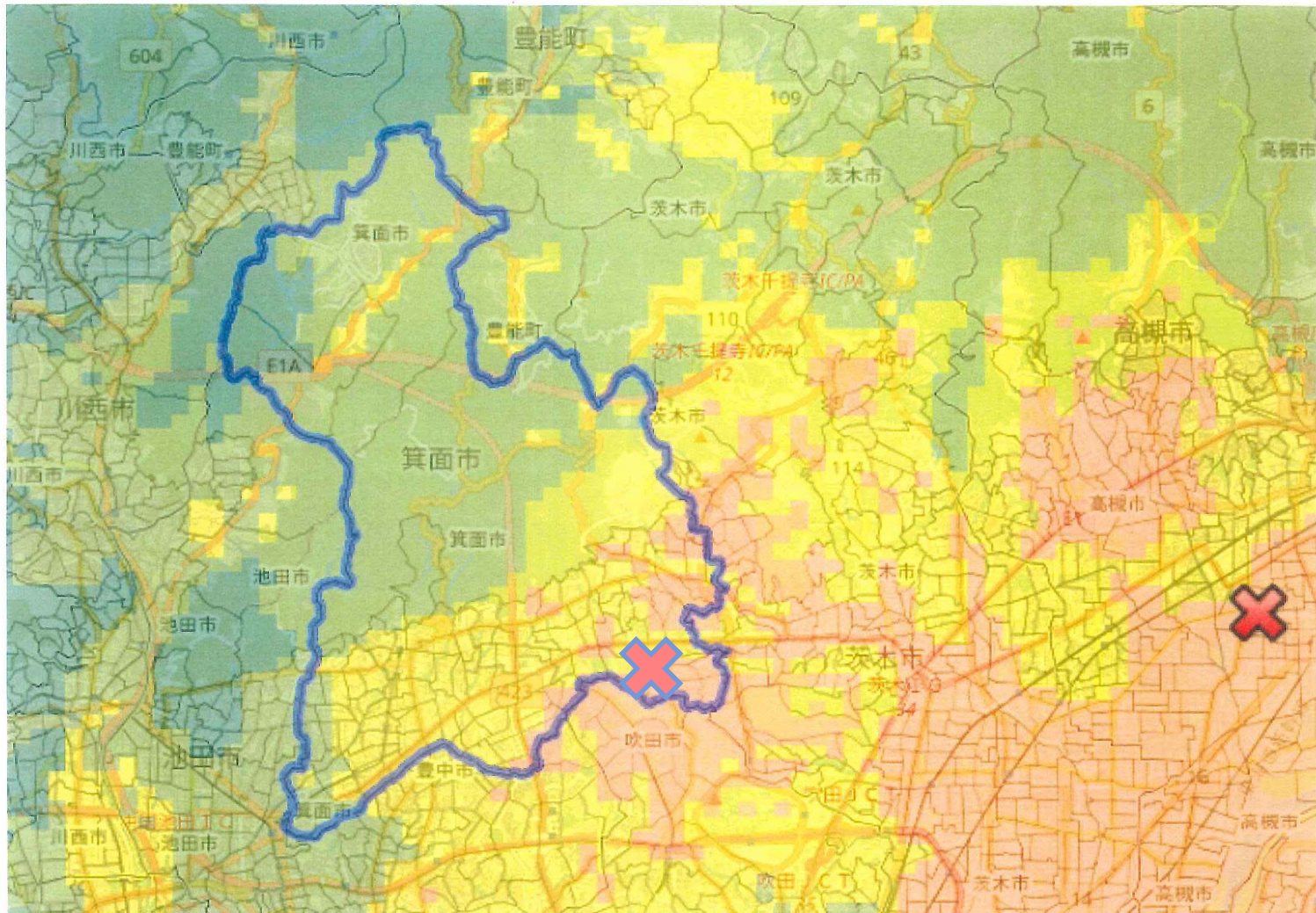
- ☒ Standard
- ☐ Aside
- ☐ Image
- ☐ Video
- ☐ Quote

(公財)箕面市国際交流協会

②被災時の対応事例 (2018年6月18日の大阪北部地震)

2018年6月18日(月)am7:58 大阪北部地震

箕面市は震度6弱



当日：協会HPに2言語で情報をアップ

(公財) 箕面市国際交流協会
Minoh Association For Global Awareness

ホーム アクセス お問い合わせ サイトマップ プライバシー ポリシー 多文化交流センター

한글 中文 English 日本語

Twitter Facebook

知ろう!
みのおの今

つかう!
MAFGAでできること

おうえんする!
ボランティアする

つながる!
国際交流を楽しむ

MAFGAとは?
組織概要

検索 ルビふり

写真ニュース PHOTO GALLERY

じしん かん
地震に関する
きんきゅうじょうほう
緊急情報
Earthquake
Information
地震的信息
지진정보

映像で見る
イラク・シリアの現場から
＜玉本英子さん講演会＞

2018年7月1日(日)
14:00～16:00

パレスチナ・ガザの今
～知ることのできる未来～

過去の写真ニュースはコチラ

イベントカレンダー

世界の緊急時援助と日習わしシェアが盛りだくさん! comm cafe

多文化理解
プログラム

国際協力・友好都市
ニュージーランド・メキシコ

新着情報 NEWS

つながる 2018.07.13 外国にルーツのある子どもと保護者のための小学校生活についての相談会

協会の多言語Facebookページ 「Minoh Multilingual」



「やさしい日本語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」、「英語」、「ポルトガル語」、「ベトナム語」の6言語で情報提供。

2日目:6月19日(火)スタッフ会議

○ 多言語での情報発信チーム

(英語、中国語、韓国・朝鮮語、やさしい日本語などで箕面市やライフライン関連の情報を収集し翻訳。
フェイスブックページ「Minoh Multilingual」にもアップ。)

○ 避難所巡回チーム

(多言語が話せる職員が同行して市内の避難所を訪問。
事前の電話によると、余震のため昨晩は多数の避難者があったと聞く。)

○ 事務所の復旧作業

(午後から実施。2階の倉庫や印刷室など、まだ多くのものが飛散していたのを手分けして片付けた。)

職員が使える言語

- 中国語2名(ネイティブ・中級)
- 韓国・朝鮮語3名(ネイティブ・ネイティブ級・中級)
- 英語5名(ネイティブ級)
- ポルトガル語(ネイティブ)
- ロシア語(ネイティブ)
- モンゴル語(ネイティブ)
- タイ語(ネイティブ級)
- ヒンディー語(ネイティブ級)
- トルコ語(ネイティブ級)
- スペイン語、フランス語、アラビア語、ベトナム語

職員17人中、
外国籍の
当事者が6名！

今回の地震で使用した言語

- 中国語2名(ネイティブ・中級)
- 韓国・朝鮮語3名(ネイティブ・ネイティブ級・中級)
- 英語5名(ネイティブ級)
- ポルトガル語(ネイティブ)
- ロシア語(ネイティブ)
- モンゴル語(ネイティブ)
- タイ語(ネイティブ級)
- ヒンディー語(ネイティブ級)
- トルコ語(ネイティブ級)
- ベトナム語(ネイティブ)

2018.6.19 AM9:30 避難所巡回(その日は市内6カ所をまわる)



多言語情報を掲示(QRコードが役立った)



社協の職員と巡回。 相談がたくさん寄せられる



「通訳リーダー」づくり



中国語は4名、インドネシア語、タイ語、英語(+ヒンディー語)、ベトナム語から1名

いろいろなデマも流れる

いいね！

フォローする

シェア

...

+ ボタンを追加



コメントする...



**Minoh Multilingual**

作成者: mafga0630@gmail.com [?] · 6月20日 · 🌐

【Rumors regarding the earthquake is spreading. (地震についてのうわさが出回っています)】

Information such as "An earthquake will happen on XX at XX" are not correct and reliable.

No one can tell when and where exactly the earthquake will happen.

For accurate information, please check information from Osaka Prefecture, Minoh City or MAFGA.

[翻訳を見る](#)

 493人にリーチしました

宣伝できません

 Natsumi Kawataさん、Angus Gore-Andrewsさん、他6人

シェア5件

 いいね！

 コメントする

 シェアする



**Mafga (箕面市国際交流協会) 事務局**

2017年10月12日 16:47 🌐

📍 らいとびあ21「お宝祭り」で行われる「世界のカラオケ」ステージで歌ってくれる人を募集しています！

いいね！2件

いいね！ · コメントする · メッセージ

**Mafga (箕面市国際交流協会) 事務局**

2017年1月17日 15:33 🌐

📍

いいね！1件

いいね！ · コメントする · メッセージ

日本語 · English (US) · Español ·

技能実習生と情報過疎

OSAKA GAS

日本語 簡体中文 한국어

Daigas Group

Contact us

About Us

Press Release

International
Energy Business

Investors

Sustainability

Technology

Residential
Customers

[Home](#) > [Residential Customers](#) > [Safety](#) > If you are experiencing an outage

Residential Customers

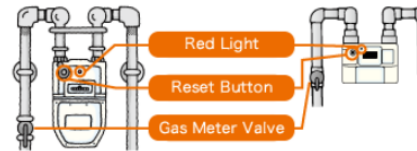
- ▶ Starting Service
- ▶ Moving Home
- ▶ Stopping Service
- ▶ Payment
- ▶ Products
- ▶ Inspection
- ▶ **Safety**

If you are experiencing an outage

⚠ If you are experiencing an outage

The red light on your gas meter blinks when the gas supply is turned off in the following events.

1. An earthquake larger than a seismic intensity of 5 on the Japanese seismic scale
2. A large amount of gas flow
3. A decrease in gas pressure
4. A continuous stable gas flow for many hours



⚠ If gas does not come out, there is a possibility of a gas leak. If you smell gas, close the valve and [contact us immediately \(Gas Leak Emergency Number\)](#).



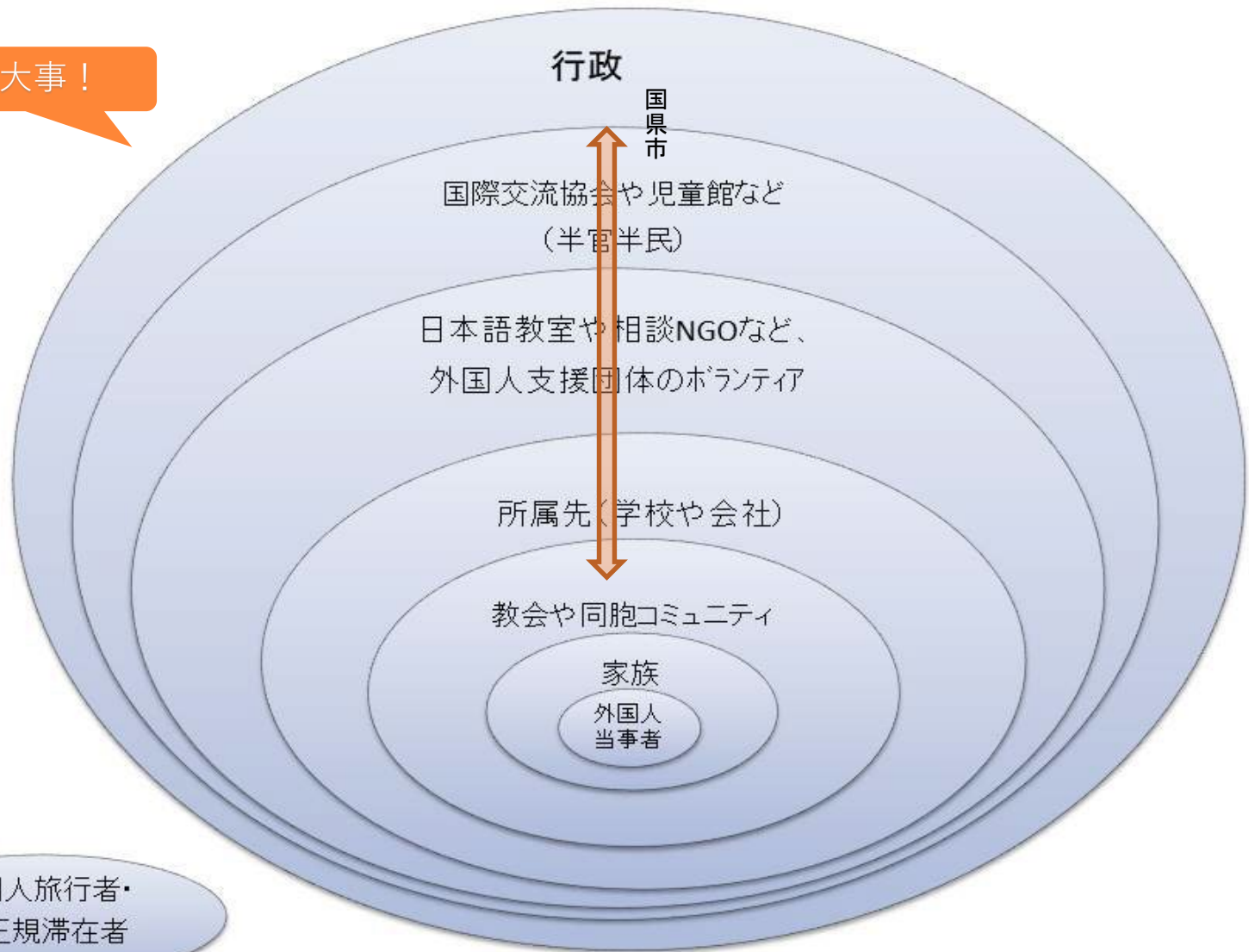
2018年6月25日～

箕面は1週間で落ち着いたので、国流ネットワークおおさかで茨木市への通訳応援をおこなう(中国語、英語)。



情報(じょうほう)の伝わり方のイメージ

口コミが大事！



地震に対する知見と恐怖は反比例

- 地震や余震についての基礎知識のなさ
「大きな地震は夜来ることが多い？」
「このひびわれは大丈夫？」
「この体育館は大丈夫？」
- 聞きなれない災害用語
「断水」や「余震」、避難指示、避難勧告どうちがう？
- テレビのあいまいな指示（「安全を確保してください」など）
- 不安をあおる装置「防災スピーカー」や「断水を知らせる広報車」
断片的に聞き取れる言葉＝「避難してください」

⇒より一層混乱し、不安を増幅させる。

知り合いの外国人留学生や研究者が、自分の国に帰ってしまったり、
大阪を離れたりする中で、「帰るべきかどうか、わからない。」
「日本の人はなぜそんなに落ち着いていられるの？」

日本語能力、または 日本に詳しい知人の 有無	特徴的な背景	地震に対する対応
○ (わかる or 日本に詳しい 知人がいる)	・安否確認がはやい(誰かが気にかけてくれる)。家族や職場等、ひとりぼっちにならない環境がある。 ・地震に関する知識、情報がストックされている。	・普段からの備えがある。 ・知識があつたり、わからないことをすぐに聞ける環境があるので落ち着いて行動できる。
× (わからない、 日本に詳しい 知人がいない)	・全員が借家暮らし(そのうち約80%は独り暮らし)。多国籍。最も多かった在留資格は「留学」、「家族滞在」だが、「研修」、「技能実習」も。 ・知識や情報が少なく不安が増殖しがち。	・怖くて不眠を訴える等の症状。 ・パニックになり、大阪を離れたり、帰国したりする人も。 ・ガスメーターの復旧ボタンがわからない、などのトラブル多数。

文化的な背景もさまざま

- ムスリム圏の場合
 - 男女の区別が明確
 - 肌を見せることの抵抗感
 - お祈りの場、手足を洗う場の確保
 - ハラール対応
- 東アジア圏の場合
 - 関東大震災のときの記憶
 - 災害のたびに拡散されるヘイト
- 属性別(留学生や大学関係者、国際結婚(再婚)で来日した人、在留資格のない人etc.)
 - 情報入手の選択肢の多さ、自尊感情において大きな格差

③被災後の取組

見えてきた課題

- 市との連携(災害対策本部、担当部局、避難所etc)
⇒「災害時多言語支援センター」設置協定の締結
- 「外国人専用の避難所をつくるべき」という声
- デマへの対応
- 阪大との連携
- 豊川南小地区防災委員会との連携
- 災害時マニュアルの見直し ⇒実施済み
- 災害時ボランティアの登用の仕組みづくり ⇒検討済み
- 市のHP対策(外国人市民へトップページから伝わるバナー)

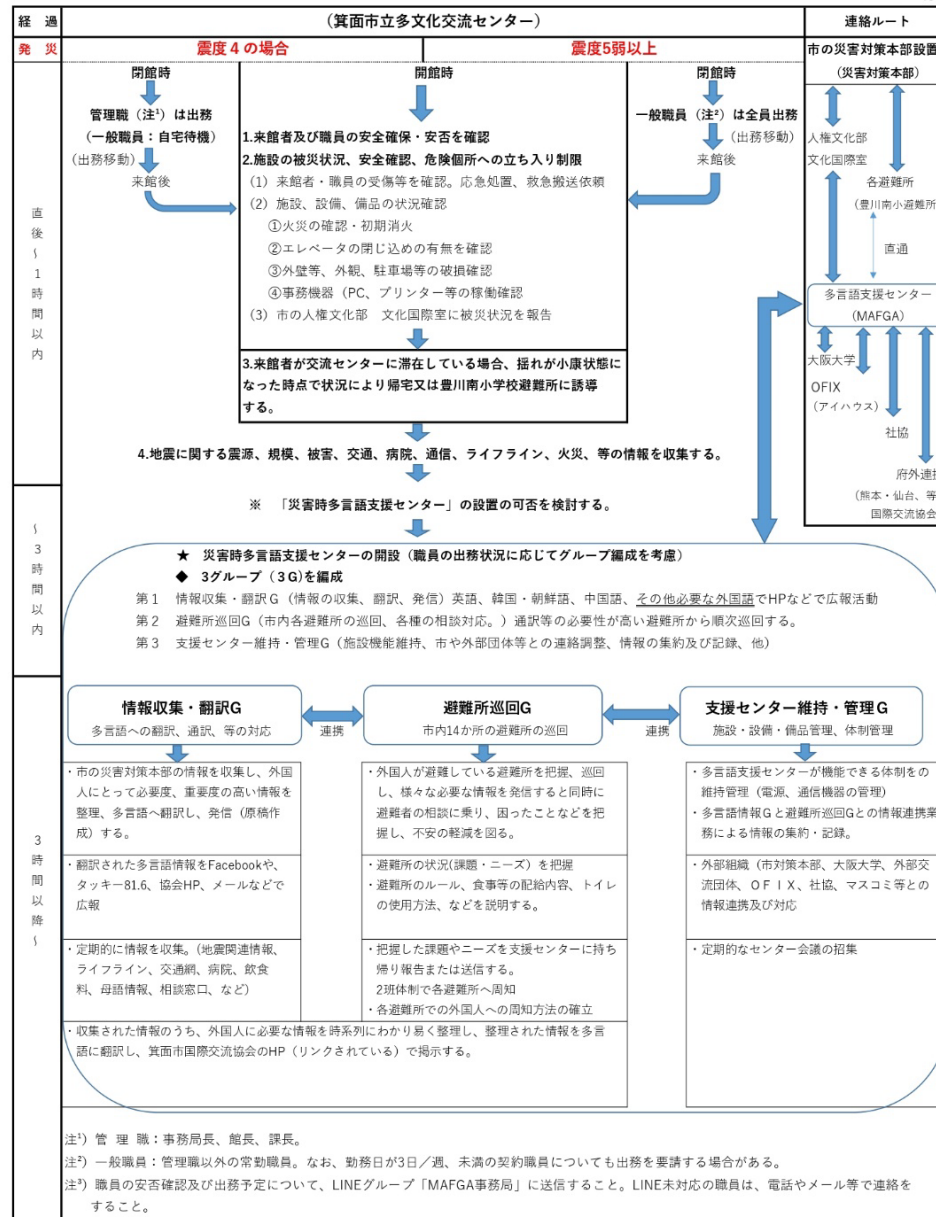
これから

- 多言語防災アプリ(近畿通信局)のモニタリング(終了)
- 災害時多言語支援センター設置協定に向けた準備(継続中)
- 外国人防災アドバイザーの養成、外国人防災コミュニティづくり

地震対応チャート(とよなか国際交流協会の資料をもとに作成)

(公財) 箕面市国際交流協会の地震発生時の対応

2018.9.21現在



注¹) 管理職: 事務局長、館長、課長。

注²) 一般職員: 管理職以外の常勤職員。なお、勤務日が3日/週、未満の契約職員についても出務を要請する場合がある。

注³) 職員の安否確認及び出務予定について、LINEグループ「MAFGA事務局」に送信すること。LINE未対応の職員は、電話やメール等で連絡をすること。

外国人防災コミュニティの育成

- 1年目(2019年度):防災セミナーの開催、基盤整備
- 2年目(2020年度):防災知識を身につける研修の実施
 - 外国人コミュニティと防災アドバイザーの役割
 - 箕面市で想定される災害とその対応
 - HUG(避難所運営ゲーム)
 - 避難所見学、地区防災委員会との交流
 - 救命救急講習、被災時の行動計画づくり
 - 防災アドバイザー制度の確立
- 3年目(2021年度) 防災研修の開催、オリジナル防災動画の作成
https://mafga.or.jp/news/bousai_videos2021/

4年目(2022年度)以降:

第2期防災アドバイザー募集
ハザードマップのリニューアル

外国人も防災リーダー

近年の相次ぐ自然災害で、日本に住む外国人に地域の防災リーダー役を担ってもらう取り組みが広がっている。2018年6月の大阪北部地震をきっかけに大阪府箕面市は、災害時に必要な情報を発信する外国人の育成を始めた。発生初期の混乱で行政の支援の手が回らない時に、多言語での情報発信などが期待される。

(滝口憲洋)

■混乱を教訓に

「災害に備え、何をどの程度準備するのか。少しでも知識や情報を広めていこう。」市立多文化交流センターで11日、イラン、中国、タイ、ブラジル出身の4人が、秋のイベントで防災関連の企画を考えるため、意見を出し合った。

電気が止まり困っていた友人もいた。次に災害が起きた時には役に立ちたい」と語る。

人口約14万人の市内には、85か国・地域の外国人が約2700人が住む。北部

大阪北部地震 2018年6月18日午前7時58分に発生し、大阪府北部で最大震度6弱を観測した。倒壊したブロック塀の下敷きになった女児6人が死亡（災害関連死含む）、府北部を中心に6万棟以上の住宅被害があった。

大阪北部地震4年

多言語で情報発信



市は20年度に防災アドバイスという混乱を教訓に、こうした混乱を教訓に、市は20年度に防災アドバイス

地震では一つの小学校に130人以上の外国人が殺到。避難情報の意味がわからない中、仲間とのSNSなどで「小学校に避難できる」との情報が拡散し、自宅近くの避難所を知らずに周辺市から避難してきた外国人もいた。

調査会社「サーベイリサーチセンター」（東京）が2月に、在留外国人を対象に実施したインターネットによるアンケート（999人回答）によると、災害発生時に不安に感じることについて「避難所での生活に不安を感じる」が43.2%、「住宅が被害にあった場合の住むところ」が40.5%などの回答（複数回答が多かった）。

市文化国際室の小林和幸室長は「異国で被災する外国人は、日本人よりも大きな不安にさらされる。正確な情報を伝えられる人材を増やしていきたい」と話す。

防災情報の発信について、市は20年度に防災アドバイスという混乱を教訓に、市は20年度に防災アドバイス

大阪府箕面市で



外国人市民ならではの視点を活かした事業

(公財)箕面市国際交流協会

MAFGA

MAFGAについて / プログラム / ニュース / 企業・団体の方へ / 賛助会員になる



2、停電になったらどうする？ 非常用電源の紹介



2022年度 秋の多文化ボランティアセミナー

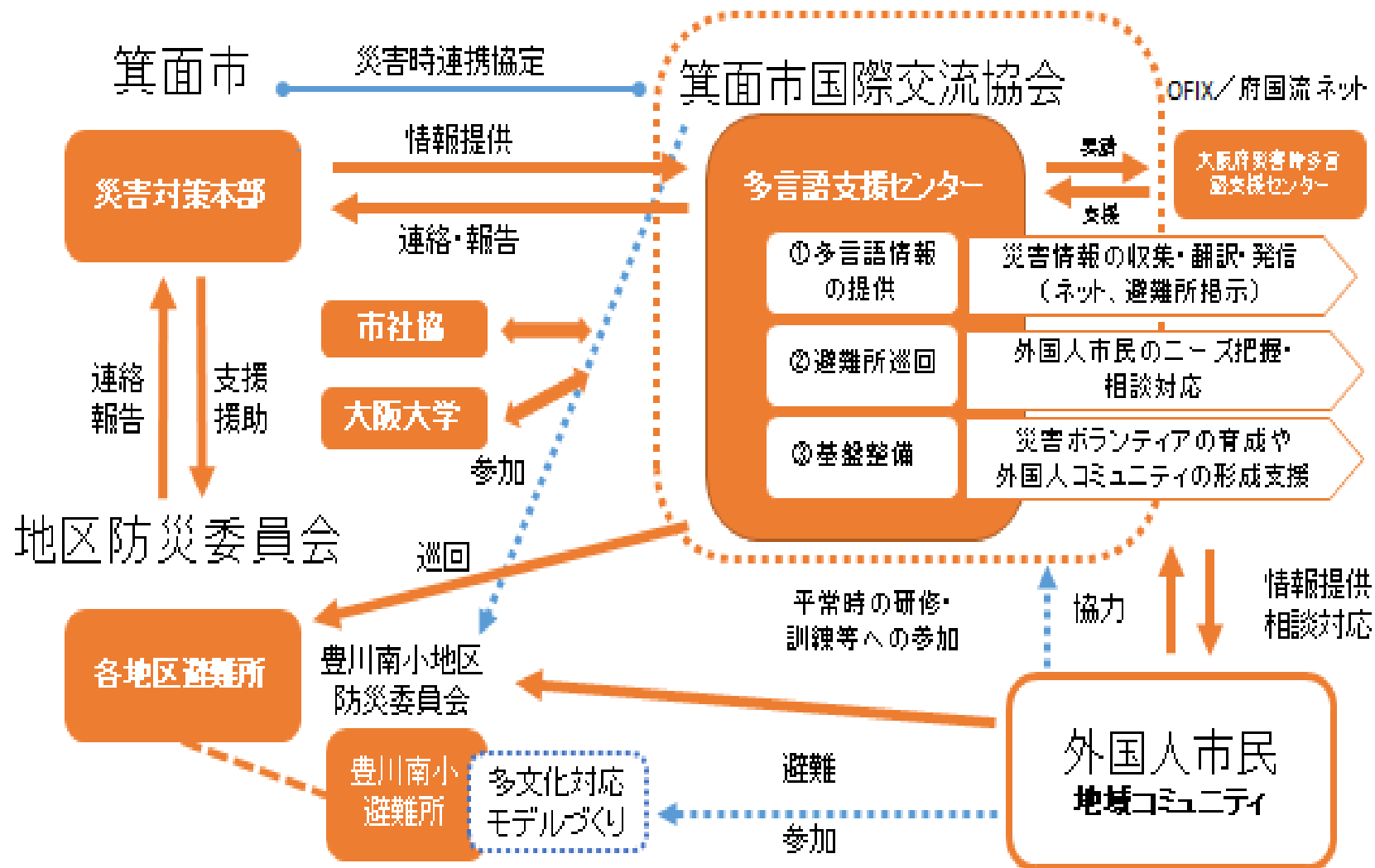
2022.08.31
協会月刊情報誌「めろん」
No.180を発行しました。

2022.08.19
職員募集のご案内【締切 9
月13日(火)】

2022.08.16
就職支援セミナー
(Employment Support
Seminar)

2022.08.13
みのおポスト8-9月号発行
しました！

防災体制づくり（連携イメージ）



まとめ 「災害時の外国人支援」とは・・・

- 普段やっていることしかできない

(これまでできなかったことが急にできる筈もない)

- 情報選択するため、すべての内容は伝えられない

- 情報発信に“明確な正解”はない

(読み手がどんな相手かによって変わる)

- 日本人特有の「思い込み」には要注意

(相手の状況をよく理解することが必要)

- 地域外の人をどう活用するか。

→「圧倒的な立ち位置の差＝**非対称性**がある」
との意識を前提に

ご清聴ありがとうございました。

(公財)箕面市国際交流協会 岩城あすか

TEL:072-727-6912 iwaki@mafga.or.jp